

編集後記

- ▼今年度始めに、第二庁舎からの引越し、宗門新機構のスタート、石川教張前所長の急逝がつづいた現宗研。先の見えない長々期不況、アメリカによるイラク・北朝鮮への軍事行動の気配、国立戦没者新追悼施設や有事関連の法案を成立させたい政府の動きがある社会。現在進行形で多忙多難な状況が続きます。
- ▼立正安国を宗是とする本宗の対社会的取り組みの必要性を、石川浩徳師特別寄稿からお汲み取りください。
- ▼昨年二月の教団論セミナーはタイムリーなイスラム問題をとり上げ、公演後の懇談も盛会でした。その時ご要望がありました文章化を終え、中井レポートと共に掲載しました。本年度の教団論セミナーは、三月に撰折論を取り上げます。
- ▼教化学研究発表大会で特別発表をお願いした長谷川論文は、反響を呼びました。日蓮宗の規範を描出する方法論（教学）が議論されていない、与えられた規範を教師がどのように教化するかが教化学である、との試論や、脳死や撰折論にも言及しています。
- ▼研究ノートとして、四師のレポートを提供します。特に奥田レポートは、現宗研が研究的に取り組んだ全七回のビハークラ講座の概略を述べています。
- ▼相次いで改正変更された創価学会会則・規則を、改正変更前のそれぞれと比べてごらん下さい。新教団宣言・教祖誕生・教義問題・選挙対策・広布戦略など、宗教だけでない政治団体の性格が読み取れます。
- ▼地を這うように生きた一教師の生涯が、寄贈された大隅実山文庫から伺えます。近現代史研究の一助に、と願います。
- ▼今年度の中央教研は、従来の四部会形式でなく、本年しかできない七五〇総括を全員参加形式のKJ法で行ない、合意の形成方法も研究できました。七五〇総括中間アンケートを活用しました。次年度実施の七五〇総括全教師アンケートで評価・反省点をあげ、来たる降誕八百年への対応、宗門運動の構築の基礎調査にしたいと思えます。
- ▼現宗研発足直後から今日まで一貫してかわられた石川教張師の業績は、本宗にとどまりません。社会・大衆を一直線に見ながら、ブレることなく進まれた師の足跡を、証言集の形で集録しました。
- ▼寄贈図書等は、活用させていただきます。購入図書等も含めた、貸出・閲覧などのサービスに対応しますので、ご一報ください。
- ▼教化学研究発表大会報告と全女性教師アンケート報告は、別冊で提供します。
- ▼昨年四月から月刊化された宗報で情報を提供していますので、ごらんください。
- ▼教研会議・教化センターを含む事業内容について、現宗研設立の原点に帰る形で故石川教張師に問い、調査・研究をもとに現代教化を提言したいと思えます。ご支援ください。

（主任伊藤立教記）